

市立大津市民病院大学レポート

第5回 健康講座

テーマ：『聞いてみたくなる検査のはなし』

- ◆日時：11月22日（水）14時～15時
- ◆場所：市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師：臨床検査部技師長 森 恵美子
- ◆参加者：52名（院外47名、院内5名）



平成29年度第5回市立大津市民病院大学健康講座を開催いたしました。講師からは、採血、尿検査、血液型検査、基準値の意味、検査結果に影響を与える要因、生理検査（心電図、腹部エコー、肺機能検査、ABI検査他）等のお話がありました。採血管を替えて何本も採血をするのは何故か、何本も採血をして貧血にならないのかなどのお話もあり、受講者の皆さんも興味深く聴講いただいている様子でした。受講後アンケートでも、「とても分かり易いお話だった。」「今まで受けていた検査の意味や目的が良くわかった。」「採血管の違い、種類などが分かった。」などの意見をいただきました。

第6回 健康講座



テーマ：『肺がん手術のウラ話』

- ◆日時：12月15日（金）14時～15時
- ◆場所：市立大津市民病院 9階大会議室
- ◆講師：副院長/呼吸器外科診療部長 戸田 省吾
- ◆参加者：65名（院外60名、院内5名）



平成29年度第6回市立大津市民病院大学健康講座を開催いたしました。講義は、「外科手術の謎」と題して「ずっと立っているの？」「ずっと真剣なの？」「おしっこしなくなったらどうするの？」「すごく器用なの？」「裁縫も得意？」等の疑問から始まり、肺がん手術についてユーモアを交えた具体的な話がありました。内容は肺がんとタバコの関係、肺がんは今も昔も怖い病気で、男性では悪性腫瘍中の死亡者数第1位であるが早期に発見して手術を受ければ、胸腔鏡による楽な手術が受けられる可能性が高くなるといったものでした。受講後アンケートでも、「楽しく聞くことができた。」「肺がんになってもこの先生なら怖くないと思った。」「タバコと肺がんの関係についてあらためて理解できた。」などの意見をいただきました。



災害医療訓練 を実施いたしました！

12月2日（土）、本館2階外来フロアを中心に平成29年度市立大津市民病院災害医療訓練を実施しました。

今回は、休日夜間に滋賀県北西部に大規模災害が発生、大津市内でも多数の被災者が発生したという想定のもと、当直体制での傷病者の受入体制の構築とそれに続く傷病者受入をするというものでした。

当日の訓練参加者は約100名でしたが、参加者は“休日夜間”のスタッフが少ない中での大規模災害という状況設定に戸惑いながらも本番さながらの訓練に臨んでいました。

訓練後のフィードバックでは課題も出ましたが、市立大津市民病院は今後も災害に強い病院を目指しこのような訓練を実施していきます。

